



2017年5月14日お寺の菖蒲と合同支部総会の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山と仰ぎ、日蓮大聖人様の763年に及ぶ正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日蓮上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊を信受し、破邪顕正の折伏精神を根本として布教活動をさせていただいております。

### ① 講中の皆様へ

仏法には『三障・四魔』が説かれています。これらは、私たちの信心が増大するにつけ、四方八方から信心を破ろうとする作用をいいます。今紙では「三障」についてのみ触れます。三障とは①煩惱障(根本的な煩惱の働き)、②業障(自分の悪業と人々の心の動きに左右されること)③報障(権力者や先輩等からの妨害)をいいます。一浮の楽、一沈の苦に一喜一憂しては真の成仏はおぼつきません。日頃からの唱題行、教学の研鑽、折伏の実践がこの三障を破ります。精進していきましょう。

### ② 創価学会の皆様へ

創価学会は当初、何を目的に設立されたかをご存知ですか。初代会長牧口氏は、『仏教の極意たる妙法の日蓮正宗大石寺にのみ正しく伝わる唯一の秘法がある』、また『日蓮正宗の法義に従い奉って自行化他の大善生活をなし、国家教育の革新に貢献したい』と述べています。戸田城聖氏はこのお心を継がれ、昭和27年8月に宗門の許可のもと宗教法人を取得したのです。当時の学会規則には『この法人は、日蓮大聖人の一閻浮提総与の大漫荼羅を本尊とし、日蓮正宗の教義をひろめ』と設立目的が明らかでした。今、創価学会は何に帰依しているのでしょうか。

### ③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

宗教を信ずると、没頭するあまり冷静な思考・判断力がマヒして、理性を持たなくなると危惧する人がおられます。しかし、正しい因果の道理を説く法華経の教えでは、聞(もん)・思(し)・修(しゅう)の三慧(さんえ)と云って、正法をよく聞き、思惟し、修行が必要だと説きます。正しい仏法を信じ、修行することで、生命の本源が活動し、物事を正しく知見できるというのです。つまり人生において最も大切な真実の幸福を確立する仏界という本心を得て行けるのです。日蓮正宗の話聞いてみませんか。

# 法遍寺 から大切な 皆様へ

2017年6月1日

第4号

日蓮正宗 年間方針

## 折伏育成の年

法遍寺・天晴寺支部年間方針

## 青年部育成

## 全員で折伏

年間実践テーマ

①勤行・唱題で折伏完遂

## 罪障消滅

②御講参詣で人材育成

## 幸福境涯

③講中みんなで支部総登山

## 福德倍増

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)